

2016年度 第1四半期 決算説明資料

明豊ファシリティワークス株式会社

2016年8月5日

2016年度 第1四半期 決算サマリー



2016年度 第1四半期 決算サマリー

- ◆ 受注状況
好調に推移
社内で管理する粗利益ベースでの受注高は過去最高を記録
 - ◆ 通期売上高予想
前年実績より微増を予想
 - ◆ 通期経常利益、当期利益予想
当初予想通り過去最高益を僅かながらも増加予想
-
- ◆ 国土交通省が行う「多様な入札契約モデル事業」について
平成26年度から継続して受託
当事業年度も、香川県善通寺市庁舎建設事業を受託し、
発注支援型CM方式の普及に取り組んでいる
-
- ◆ CM事業では、新規顧客の引き合いが増加

2016年度 第1四半期 決算概要



1 2016年度 第1四半期 決算概要 ①PL

第1四半期の「売上高」はアットリスクCM案件の増加により、前年実績より増加しております。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比較	増減率
売上高	1,051	1,201	150	14.3%
売上総利益	282	306	24	8.7%
売上総利益率	26.9%	25.5%	-	△1.4P
営業利益	21	26	5	27.8%
経常利益	20	27	6	30.5%
当期純利益	12	18	5	40.0% (※1)

(※1) 法定実効税率引下げにより、経常利益以上の増減率となっております。

2 2016年度 第1四半期 決算概要 ②BS

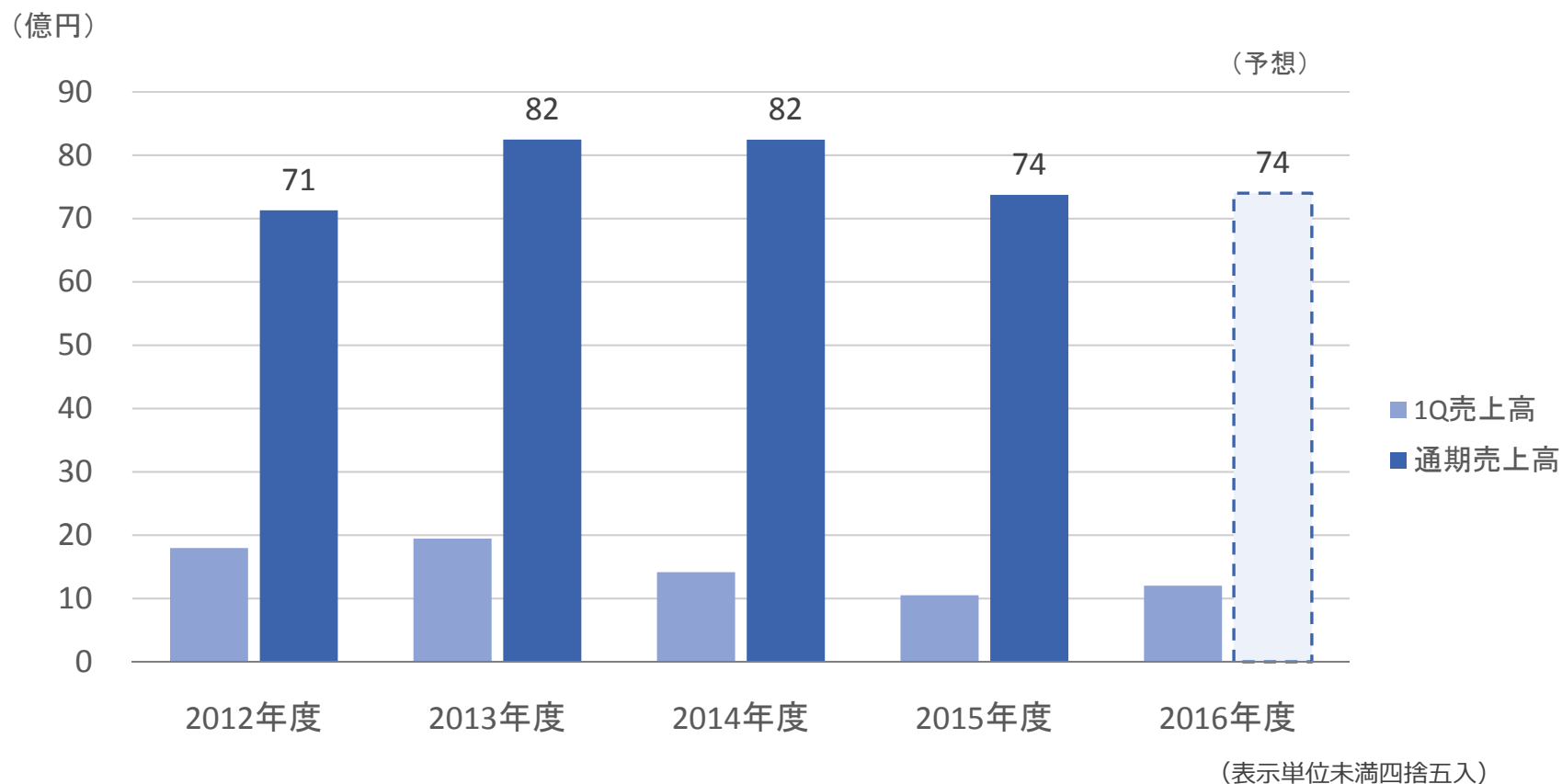
前事業年度の大型アットリスクCM（請負）案件の運転資金負担が解消して、第1四半期の「売上債権」と「仕入債務」が減少し、「現金及び預金」が増加いたしました。

（各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て）

	2015年度末	2016年度 1 Q	前年度末比較	増減率
資産	4,240	3,561	△678	△16.0%
（現金及び預金）	1,361	1,837	475	34.9%
（売上債権）	2,348	1,221	△1,126	△48.0%
負債	1,840	1,256	△583	△31.7%
（仕入債務）	762	201	△561	△73.7%
（有利子負債）	11	-	△11	△100.0%
純資産	2,399	2,304	△94	△4.0%
（新株予約権）	14	14	-	-
（自己資本）	△193	△193	-	-

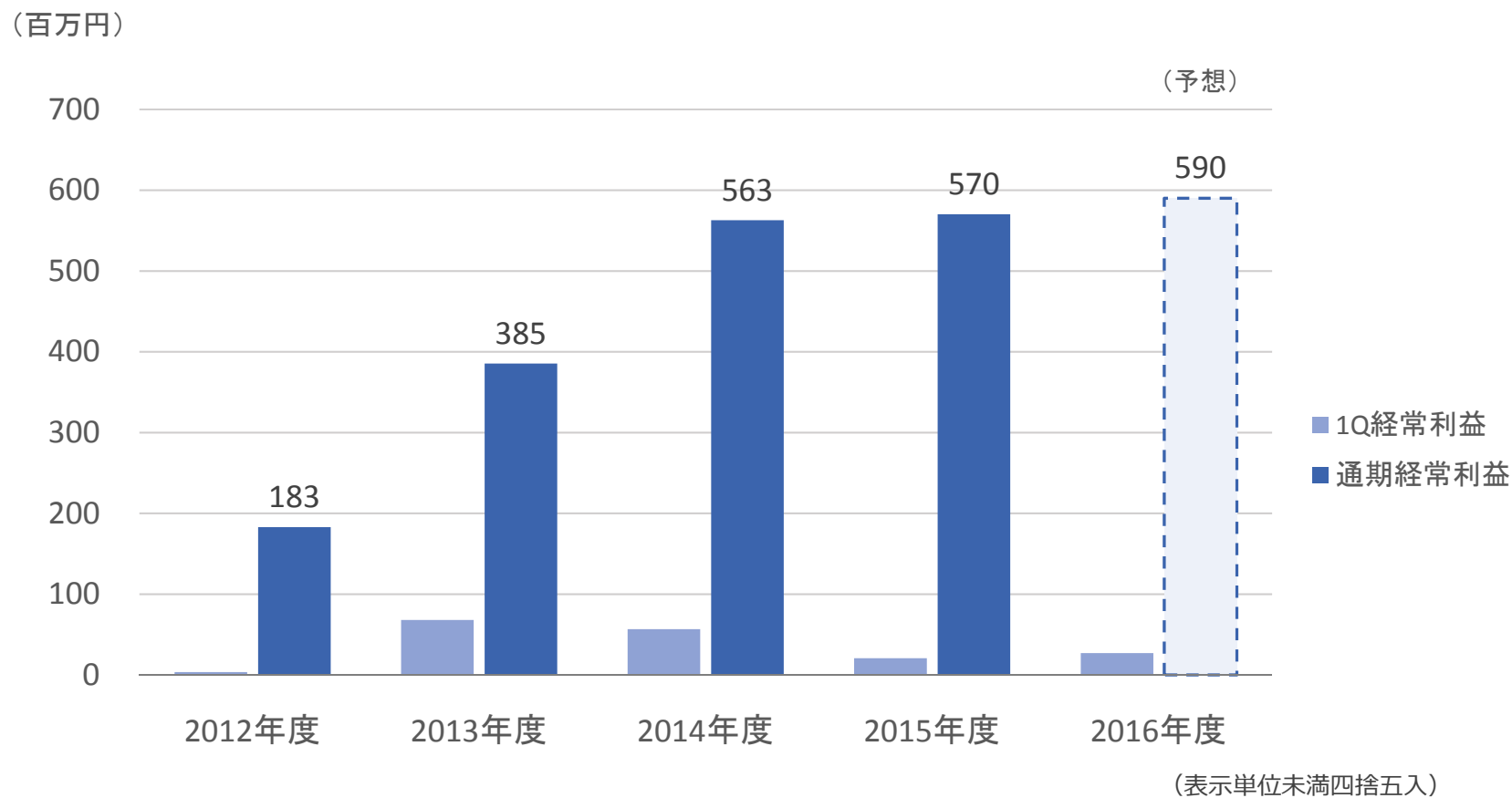
3 売上高の推移

第1四半期の売上高は、アットリスクCM（工事原価を含む請負契約型CM）案件の出来高が増加したため、前年同期比で増加いたしました。



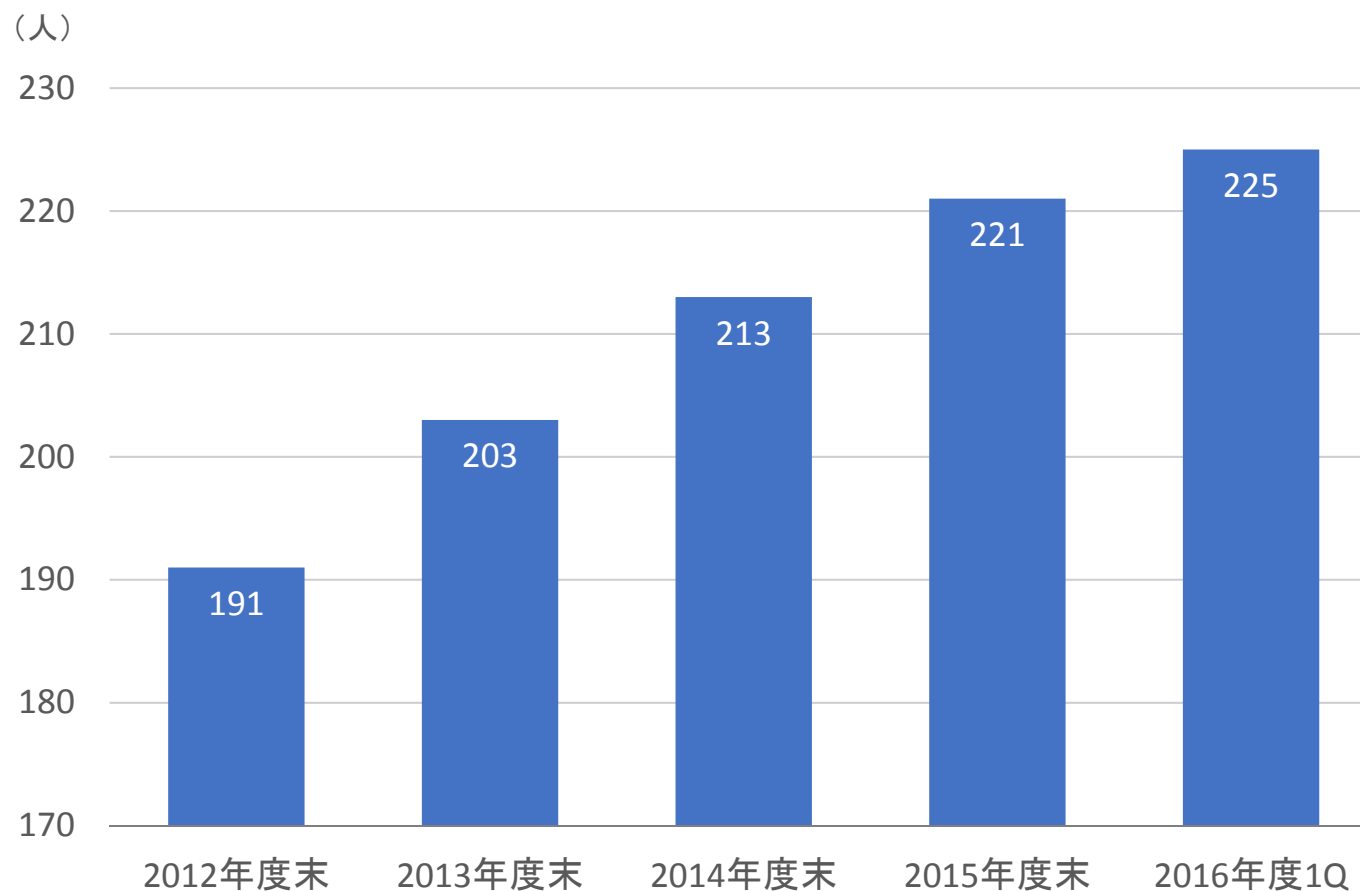
4 経常利益の推移

通期経常利益は、7期連続増益を目指しております。



5 社員数の推移

4名純増となる225名体制になっております。



(注) 役員および契約社員、派遣社員等を含む

6 売上粗利益の定義及び開示に関するポリシー

$$\text{売上粗利益} = \text{売上高} - \text{社内コスト以外の売上原価} \\ \text{(工事費、外注費等)}$$

当社の売上高は、フィーのみで構成されるピュアCM方式と、フィー＋調達原価で構成されるアットリスクCM方式とで、その金額が大きく異なります。

そのため、社内では売上粗利益〔売上高から社内コスト以外の売上原価（工事費、外注費等）を控除した金額〕にて収益の伸びを管理しております。

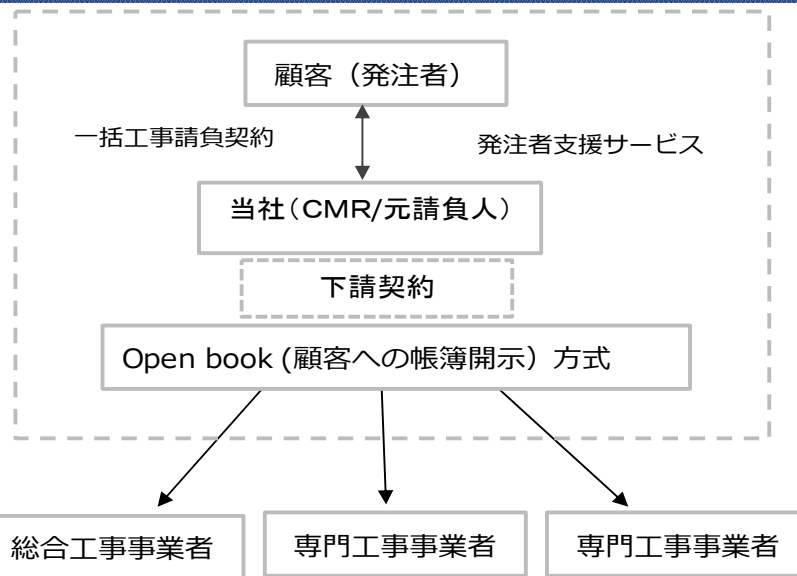
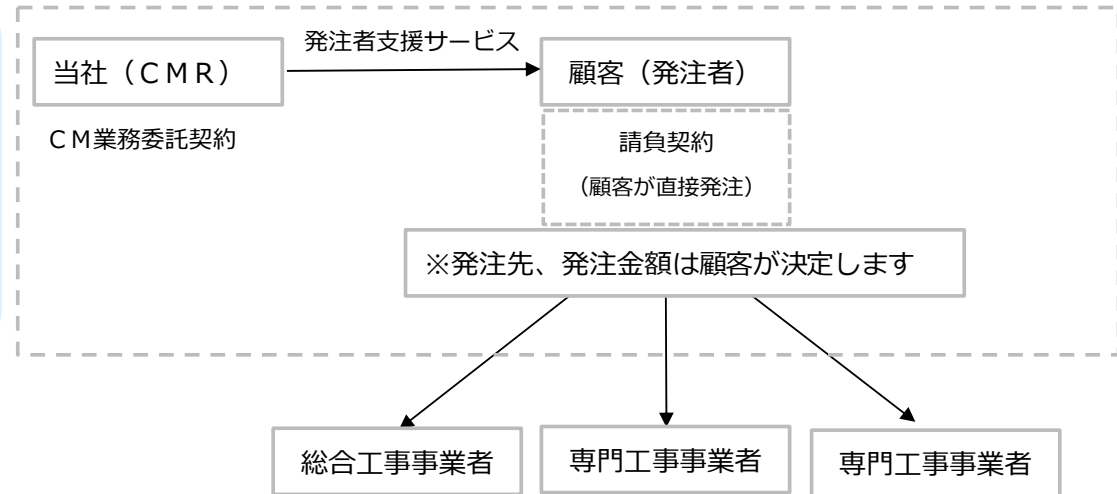
お客様との守秘義務契約を考慮し、今後もこれまで同様、売上粗利益の開示は控えさせていただきます。

7 ピュアCMとアットリスクCMについて

ピュアCM契約

顧客が施工会社各社と工事請負契約を締結し、当社は顧客とCM業務委託契約を締結する契約形態です。

当社はCM業務委託契約に基づくマネジメントフィーのみを売上計上します。



アットリスクCM契約

ピュアCM契約と同様に、当社は顧客に対してCM手法に基づくマネジメントサービスを実施します。この契約は、顧客が施工会社各社と工事請負契約を直接締結することなく、当社との間で、1本の工事請負契約を締結したいと望んだ場合に契約します。

当社は完成工事高（マネジメントフィーを含む）を売上計上し、その完成工事原価として顧客（発注者）の承認を得た下請工事原価を計上します。

2016年度 第1四半期 各セグメント状況



1 オフィス事業

- 日本国内における事業再編の動きが継続し、事業所移転などの需要が継続

－ 案件 －

-大企業における本社機能、グループ企業の統廃合、地方拠点の集約化

-先端企業による「新しい働き方」「多様な働き方」を実現する案件の増加

2 CM事業

- 民間企業からプロジェクト早期立上げ支援等、上流工程からの大型引き合い案件が増加
- 国土交通省が行う「多様な入札契約モデル事業」について当社が3年連続で受託
- 地方公共団体からのCM（発注支援）方式の実績を着実に積み上げ

－ 案件 －

- 民間企業の工場・研究所等の再編に伴う新築案件が増加
- 東京都多摩市の複合文化施設「パルテノン多摩」の大規模改修工事に関する発注者技術支援業務を5月に契約締結
- 大阪府立大学学舎整備事業 7年連続受注

3 CREM事業

- 多拠点に施設を有する顧客ニーズに合わせた当社の専門性およびマネジメント能力をご評価いただき、受注は堅調に推移

－ 案件 －

- 大企業向けを中心に、保有資産の最適化をサポート
- 多拠点施設の新築・改修・移転、同時進行プロジェクトを当社独自のシステムで効率的に進捗管理
- 複数の商業施設、オフィスビル等を保有する大企業から継続して受注
- 首都圏、近畿圏の金融機関から継続して受注

2016年度 業績予想



2016年度 業績予想

5月13日に公表した業績予想からの変更はございません。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2015年度		2016年度		前年度比	増減率
	上半期	通期	上半期	通期		
売上高	2,288	7,372	2,600	7,400	27	0.4%
営業利益	160	645	183	660	14	2.3%
経常利益	152	570	153	590	19	3.5%
当期利益	100	374	103	400	25	6.9%
自己資本当期利益率 (ROE)	—	16.7%	—	16.8%	—	0.1P
1株当たり当期純利益	—	33.26円	—	35.39円	+2.13円	6.4%
年間配当金	—	10.00円	—	12.00円	+2.00円	20.0%



Meiho Facility Works Ltd.

Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

